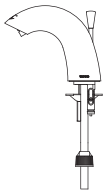
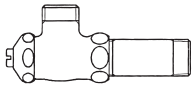
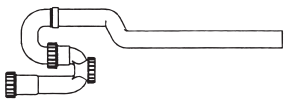
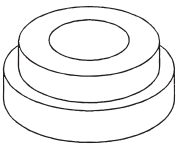
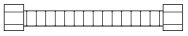
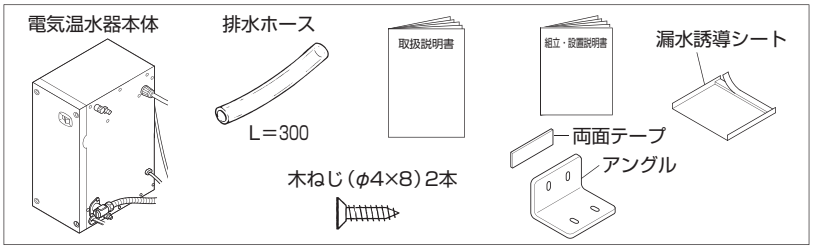
3) 付属部品明細

洗面化粧台　LDA

水栓一式	止水栓	給水ふた ※下のいづれかが付属しています			排水ふた ※下のいづれかが付属しています		
		ねじなしタイプ	ねじありタイプ		ねじなしタイプ	ねじありタイプ	
		給水ふた（めっき管用）	給水ふた	ふた固定用ねじ（φ3×12）	排水ふた（φ32用）	排水ふた	ふた固定用ねじ（φ3×12）
自動水栓　1セット 	1個 	1個	1個	2本	1個	1個	3本

排水トラップ	防臭栓	壁固定用ねじ（φ5.2×55）	取扱説明書	連結管
1セット 	1個 	2本	1冊	1本 

電気温水器



4) 設置上の注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤する原因になりますので設置しないでください。
  特に浴室内には、設置しないでください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

5) 使用条件

- 水栓金具の使用条件は水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。

6) あらかじめ必要な電気工事

- 電源は、AC100V（50/60Hz）、温水器消費電力600Wに適した配線をしてください。

重要

※容量が足りない場合は別配線を設けてください。

- 漏電による感電防止のため、アース工事を行ってください。（D種接地工事）

⚠ 警告

電気配線工事は、関連する法令にしたがって、必ず電気工事士の「有資格者」が行う

必ず実行　正しく被覆をむかないと、ショート・感電・火災の原因になります。

7) 取り付け条件

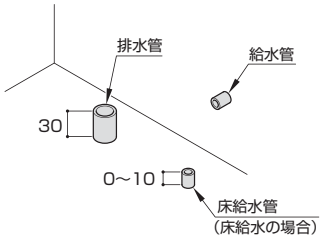
- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。

重要

※ウォールキャビネットは洗剤などが収納されるとかなりの重量になりますので地震などの際に落ちることのないように、壁固定用ねじ取り付け位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。

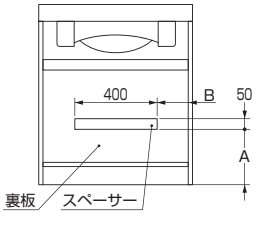
（壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。）（建築工事）

- 給水・給湯管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 給水・排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴（φ30～50×2箇所）、排水穴（φ50）を穴あけしてください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。
  仕上げ面より下図要領で立ち上げてください。
  （排水管はVU40, VU50またはVP40, VP50をご使用ください。）



【樹脂配管の場合】

※LO66Rを使用するときは、スペーサーを下図の位置に取り付けてください。



洗面化粧台 製品品番	A	B
LDA606A	300	75
LDA606B	350	
LDA756A	300	150
LDA756B	350	

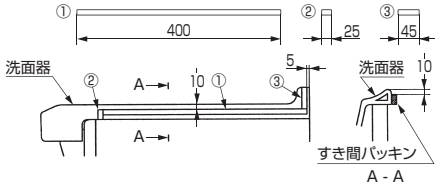
裏面に続く➡

8) 取り付け手順（番号順に取り付けてください。）

※タイル･コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度:1,000N以上／本)を打ち込んでおいてください。
プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

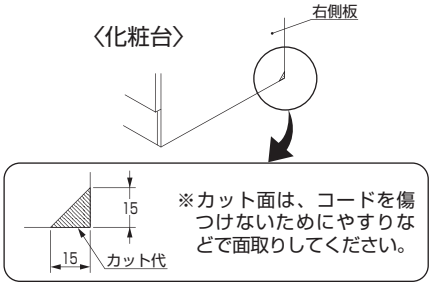
①すき間パッキンの取り付け

- すき間埋めスペーサ(L078R)およびトールキャビネットをセットする場合、すき間埋めスペーサおよびトールキャビネットに付属のパッキンを下記寸法にカットし洗面器に貼り付けてください。

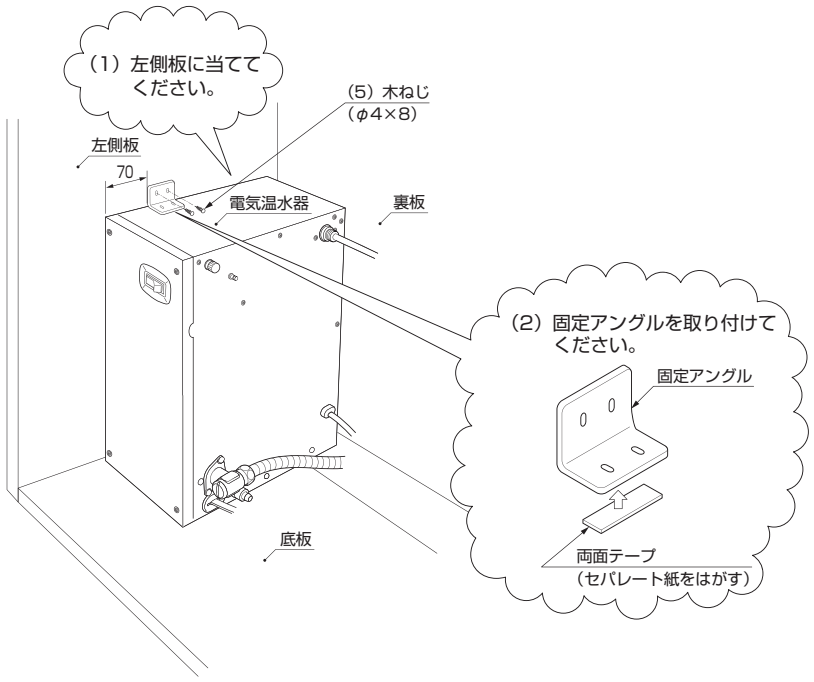


②電源コード用の切り欠き

- 電源コードおよびアース線を取り出す側の側板を下図寸法でカットしてください。
- 下図の化粧台は、電源コードおよびアース線を化粧台に向かって右側に取り出す場合を示します。
  左側に取り出す場合は、これと対称になります。

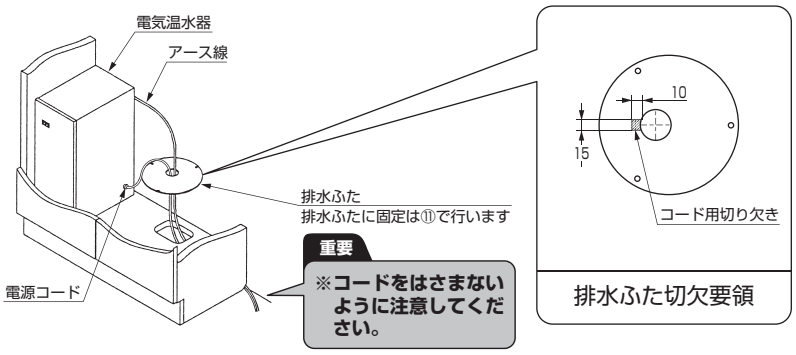


③電気温水器の取り付け

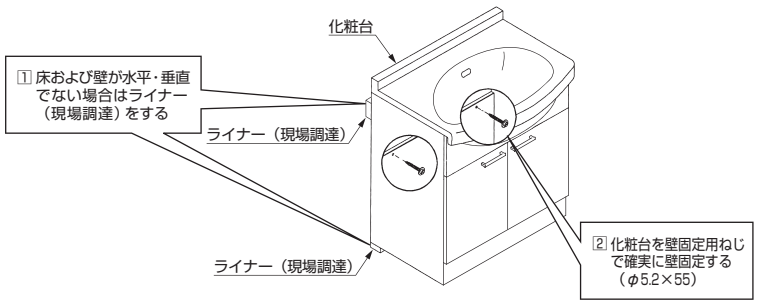


④洗面化粧台の取り付け

(1) 電源コードおよびアース線を下図のように取り出してください。
- 付属の排水ふたにコード用の切り欠きをつけてください。
- コードは排水ふたを通し、切り欠き部よりキャビネットの外へ取り出してください。(下図参照)



(2) 付属の壁固定用ねじ（2本）で壁固定してください。



重要

※商品は水平・垂直に取り付けてください。
(床・壁面に不陸がある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。)